

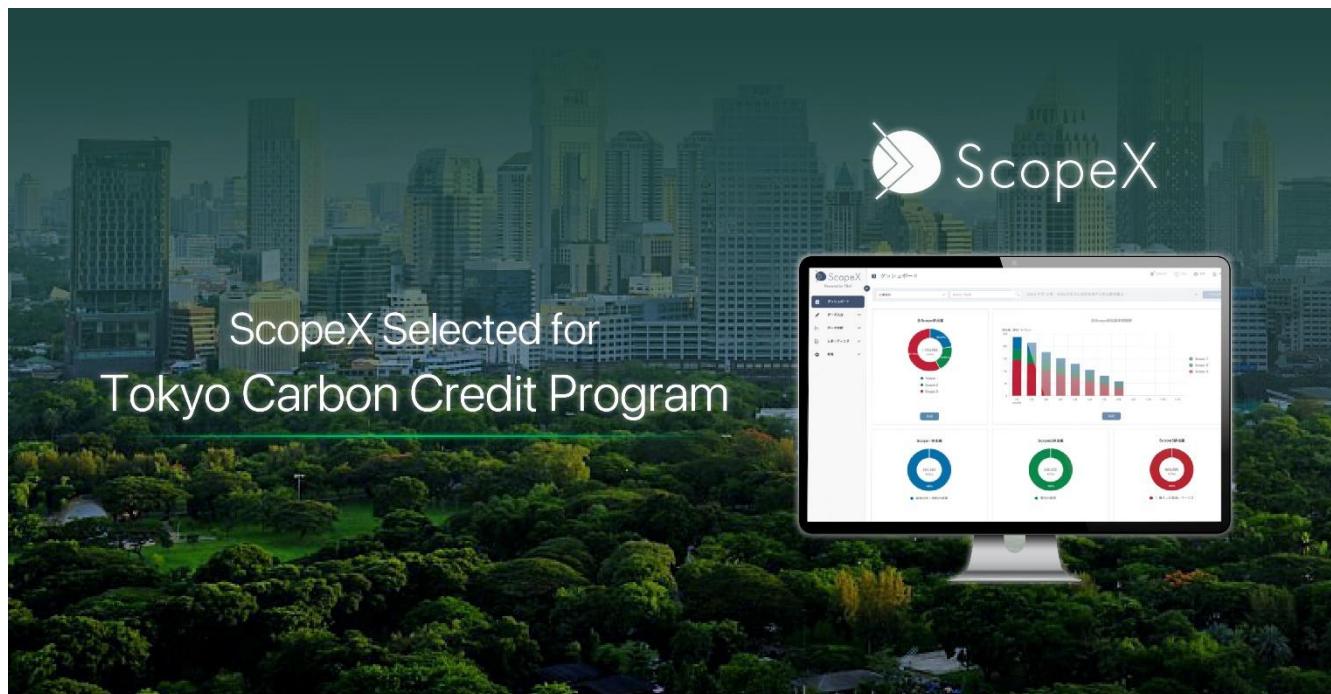
報道関係者各位

TBM、「東京都カーボンクレジットマーケット普及啓発事業」へ参画

CO₂排出量可視化ツール「ScopeX（スコープエックス）」を提供

～国際基準や環境省の水準に即したCO₂算定ツールを2026年3月末まで無料で利用可能（先着100社）～

株式会社TBM（本社：東京都千代田区、代表取締役：山崎敦義、以下TBM）は、東京都からアデコ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：平野 健二、以下アデコ）が受託した「東京都カーボンクレジットマーケット普及啓発事業」（以下、「本事業」）業務において、CO₂排出量可視化ツール「ScopeX（スコープエックス）」を提供することをお知らせします。国際基準や環境省の水準に即したCO₂算定ツール「ScopeX」は、CO₂排出量の算定・見える化からサプライチェーンを含む削減策のご提案までを一気通貫でサポートすることが可能であり、本事業においては、2026年3月末まで無料で利用いただけます。



■ 背景

東京都は、2050年の「ゼロエミッション東京」実現に向け、都内中小企業等の脱炭素化に向けた支援の一環として「東京都カーボンクレジットマーケット」を運営しています。しかし、多くの中小企業にとっては、カーボンクレジットの取引や、その前提となるCO₂排出量の算定に高度な専門知見等が求められることから、取り組みのハードルが高く、十分に活用が進んでいないのが現状です。

これを受け、東京都は、カーボンクレジットの活用を含む脱炭素経営に向けた第一歩としてのCO₂排出量の可視化支援を始め、専門家による削減対策やクレジット活用の伴走支援を無料で行う「東京都カーボンクレジットマーケット普及啓発事業」を開始しました。本事業において、「ScopeX」を含むCO₂排出量算定・可視化ツールを都内中小企業等（先着100社）を対象に2026年3月末まで無料で提供しています（お申し込み期限は2月28日まで）。請求書などの活動データからScope1・2・3のCO₂排出量を自動で算定・可視化し、最新の排出原単位データベースを用いた精緻な現状把握が可能になります。

TBMは本取り組みを通じて、都内中小企業の環境データの可視化並びに企業の持続可能な経営をサポートすると同時に、東京都が目指すカーボンクレジット取引の活性化を推進します。

■ CO₂排出量可視化ツール「ScopeX」について

・製造業の声から生まれた実務的ツール

自社で培ってきたCO₂算定ノウハウをもとに、お客様のご状況に合わせた算定ルール表を作成します。これによりノウハウの属人化を防ぎ、算定方法の共有が社内でも簡単にできるようになります。

・最新の排出係数に自動更新

毎年更新される排出係数をシステムが自動で反映するため、常に正確な算定が可能です。任意の係数や一次データの入力にも対応しています。

・専門知識がなくても安心のサポート体制

問い合わせ回数に制限がなく、電話やオンラインMTG、訪問でのフォローも可能です。脱炭素経営に関する疑問に迅速に対応します。

ScopeXに関するお問い合わせはこちら：<https://scopex.tb-m.com/form>

■ 「東京都カーボンクレジットマーケット普及啓発事業」概要

事業運営：アデコ株式会社

支援内容：CO₂可視化ツールの無料提供（ScopeXなど）、専門家による個別課題への解決策やカーボンクレジット活用提案など。

対象：東京都内中小企業等

申し込み期限：2026年2月28日（土）

公式サイト：<https://try.offset.now.metro.tokyo.lg.jp/>

申込みフォーム：<https://forms.office.com/e/k1KxyrEf31>

■ 株式会社TBM

代表者：山崎 敦義

所在地：東京都千代田区有楽町1-2-2 15F

設立：2011年8月

資本金：1億円（資本準備金含み、120億3546万円 / 2024年12月時点）

事業内容：環境配慮型の素材開発及び製品の製造、販売、資源循環を促進する事業等

URL：<https://tb-m.com/>

*本リリースに記載された会社名および商品・サービス名は当社の商標または登録商標です。

*本リリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社TBM コミュニケーション本部 広報・マーケティング部 担当：木下

サステナビリティ本部 デジタルソリューション部 担当：伊藤

メールアドレス：pr@tb-m.com 問い合わせフォーム：<https://tb-m.com/contact/>